

第22回 TCOA 保険診療懇談会

日時
場所

令和5年10月14日(土)15時30分
ステーションコンファレンス東京 サピアタワー 6F
東京都千代田区丸の内1-7-12 TEL03-6888-8080

製品紹介	15:30～15:40	骨粗鬆症治療薬「ボンビバ注・錠」	大正製薬株式会社
開会の辞	15:40～15:50	東京都臨床整形外科医会	理事 丸山 晴久
会長挨拶	15:50～16:00	東京都臨床整形外科医会	会長 森山 正敏

第1部 特別講演 16:00～17:00

座長 東京都臨床整形外科医会 会長 森山 正敏

演題 『明日から使える骨密度・骨折・骨質評価に基づく治療薬の選択とは
- 医療承認済み AI ソフトから骨質を考慮した治療まで - 』

講師 東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 主任教授 斎藤 充 先生

日本整形外科学会専門医資格継続単位:[N-4]代謝性骨疾患(骨粗鬆症含む)、[N-7]脊椎・脊髄疾患

[SS]脊椎脊髄病医継続のための単位 いずれか1単位を取得可能

副会長挨拶 17:00～17:10 東京都臨床整形外科医会 副会長 和田 慎一
— 休 憩 —

第2部 保険診療懇談会 17:20～18:20

座長 東京都臨床整形外科医会 理事 平泉 裕

講演 『知っておきたい労災診療のABC』

東京都臨床整形外科医会 副会長 子田 純夫

パネルディスカッション 18:20～18:50

パネリスト	東京都臨床整形外科医会	副会長	子田 純夫
	東京都臨床整形外科医会	理事	田尻 健
	医療法人社団敬智会 梶原病院	院長	梶原 宗介 先生

日本整形外科学会専門医資格継続単位:[N-2]外傷性疾患 [N-14-5]1～13に当てはまらない領域講習 いずれか1単位を取得可能

閉会の辞 18:50～19:00 東京都臨床整形外科医会 理事 笠原 悌司

※参加費として1,000円を申し受けます。(但し、TCOA会員の方は無料 会員証をご持参ください)

※日本整形外科学会単位取得費として1単位 1,000円を申し受けます(日整会IDカードが必要となります)

※日本医師会生涯教育制度カリキュラムコード : 第1部 : 1単位 【1】医師のプロフェッショナリズム
第2部 : 1.5単位 【6】医療制度と法律

※感染拡大防止の観点より、終了後の情報交換会はございません。

共催:東京都臨床整形外科医会 大正製薬株式会社

特別講演 東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 主任教授 斎藤 充 先生

明日から使える骨密度・骨折・骨質評価に基づく治療薬の選択とは

－ 医療承認済み AI ソフトから骨質を考慮した治療まで －

骨粗鬆症の健診受診率は平均4%程度であり、治療を受けているのは 30%程度と酷い状況である。2次骨折予防以前に、「目指せ！骨粗鬆症健診 100%」である、そこで、我々はこれらを達成するため AI ツールの開発を行い、既に薬事承認を得て日常診療で使用可能とした、(1)胸部単純 Xp1 枚から大腿骨骨密度を評価する AI ソフト、(2)単純 xp から椎体骨折を 10 秒で定量的に診断するソフトである。さらに(3)薬事承認を目指した仙骨正面1枚から脆弱性骨折を診断する AI ソフトも開発した(JBJS 2022)。これらのツールは、すでに、薬事承認以降1ヶ月で20以上の大企業健診(毎年 3 万人、退職まで継続)、行政区の健診にもりこまれ、クリニックなどの医療機関での導入もすすんでいる。さらに、日本人特有の骨折リスク因子として、10 歳代以降、高齢者にわたり、79%がビタミン D 欠乏にあることを 5518 名の研究から始めて明らかにした。こうした VitD 不足は、「新たな骨質劣化型骨粗鬆症」を生み出す事をも見出している。本講演では最新の骨密度、骨折、骨質評価について紹介し、骨質からみた骨粗鬆症治療薬の使い分けについて概説したい。

■会場地図

